

コトづくり至宝に向けた〇×の考察

○推薦者氏名を記入（〇×大学） 横幹 太郎（〇×大学）

The Sample of Application Manuscript for Kototsukuri-Shihou

* Name of candidate (Name of University), T. Ohkan (Marubatsu University)

Abstract— This abstract is for grasping whole images of application that you recommend. Please write down your manuscript in the order of below. 1st is the outline of your application. 2nd is the impacts of it from the viewpoint of our criteria. 3rd is the essential reason why you suppose that it is appropriate for Kototsukuri-Shihou.

Index terms— Kototsukuri-Shihou, other keywords of application

1 推薦原稿の執筆

コトづくり至宝発掘事業—試行版—では、コトづくり至宝にふさわしいと考えられる対象について、横幹連合カンファレンスの論文原稿フォーマットにもとづいて推薦を募集します。以下の要領にもとづいて原稿作成および提出をお願いします。基本的な執筆要領および締め切りについては横幹連合カンファレンスのルールに則ります。また、提出いただいた原稿はカンファレンスで発表した場合のみ、予稿集に掲載します。

2 本事業の目的と選出プロセス

コトづくり至宝発掘事業は、至宝として賞賛すべきわが国発のコトづくりを見出し、顕彰することにより、新たなコトづくりの規範となる考え方の提示およびその発展に寄与することを目的とし、試行版である本事業は、コトづくりに関する考え方および記述方法の提示を目的としています。

本事業の選出プロセスは以下のとおりです。

- ① 横幹連合カンファレンスの論文原稿フォーマットにもとづいた推薦対象の募集
- ② 推薦者による1件あたり10分（予定）の横幹連合カンファレンス内での発表
- ③ 検討委員会による選出会の実施および暫定版至宝（以下「コレクション」という）の選出
- ④ 結果および評価理由の公表（この際に提出いただいた推薦原稿もあわせて公表します）

ルールの詳細については「〇〇」を参照ください。なお、発表までの手順および各種締め切りについては横幹連合カンファレンスのルールに則ります。

3 原稿の内容および章立ての構成

原稿は横幹連合カンファレンスの執筆要領に沿った上で、以下の章立ておよび内容にて記述をお願いします。原稿枚数についても同要領に準拠してください。また、少なくとも画像や図を1枚以上載せるようにしてください。

3.1 1章：推薦対象および推薦理由の概要

本章では、コトづくり至宝に推薦したい対象および推薦する理由について端的に述べて下さい。

（例文）

本稿では〇×をコトづくり至宝に相応しい対象とし

て推薦し、その理由について考察する。〇×は××の観点において△△であり、その後の□□の発展に対して大きく寄与しており、コトづくりの至宝として十分な価値を持つと考えられる。

3.2 2章：推薦対象の定義および構成要素

コトづくり至宝では、コトづくりを「ある目的に対して、有形無形を問わない手段または様々な手段を複合的に用いて実現または達成した出来事」と定義し、出来事は「とある時間 t から次の時間 t' までに生じた状態（状況）変化」と定義します。

本章ではまず、推薦対象が「どのような手段を用いて何を達成したコトづくりであるか」を定義して下さい。その後、そのコトづくりに用いられた「手段の詳細」および「コトづくりにおいて果たした役割」について記述してください。なお、「定義」と「詳細および役割」は節として分けていただいても構いません。

（例文）

本稿における〇×とは「☆☆を目的に◇◇や▽▽によって達成された□△の変化」を指し、各手段は当該コトづくりにおいて以下に示す役割を果たしたものと考えられる。

A) ◇◇

◇◇は（◇◇の詳細説明を記述）であり、当該コトづくりにおいては（◇◇の役割を記述）の役割を果たしている。

B) ▽▽

▽▽は（▽▽の詳細説明を記述）であり、当該コトづくりにおいては（▽▽の役割を記述）の役割を果たしている。

3.3 3章：当該コトづくりの背景

本章では、当該推薦対象が生じる以前の状態および問題点、課題点について記述して下さい。

（例文）

当該コトづくりが生じる以前は×△において◇□の状態であり、□▽において×□という課題が存在していた。そこで当該コトづくりの必要性が考察された。

3.4 4章：達成された内容および生じた状態変化

本章では、前章の背景を踏まえた上で、当該コトづくりによって「具体的に達成された内容」および「それによって生じた状態（状況）変化」について記述して下さい。

(例文)

当該コトづくりによって(達成された内容を記述)が達成され、□○が出来るようになった。その結果、×□において(生じた状態変化を記述)という変化が生じ、▽×において□×が行われるようになった。

3.5 5章：主たる貢献者

本章では、当該コトづくりにおいて主たる貢献者と思われる人物または団体名等について記述してください。

(例文)

当該コトづくりでは、◇◇を開発した▽×氏および○◇社が主たる貢献者であると推測する。

3.6 6章：価値の観点による考察

本章では、当該コトづくりについて以下4つの観点から考察を行ってください。ただし、すべての観点について考察を行う必要はありません。

i. 先導力

「概念や考え方、方法論などが、新たな知的活動を誘発する先導性を持ち得ていたか」を問う観点です。新たな物事の先駆けとなっていたか否かという視座で考察を行ってください。

ii. 規範力

「概念や考え方、方法論などが、新たな作法や様式として定着する規範性を持ち得ていたか」を問う観点です。当該コトづくりによって生み出された手段や方法などが、デファクトスタンダードになったか否かという視座で考察を行ってください。

iii. 意味力

「活動そのものが人々の共感を集め、新たな文化や社会活動を導く魅力を持ち得ていたか」を問う観点です。人々の価値観や行動様式に大きな影響を与えたか否かという視座で考察を行ってください。

iv. 解決力

「これまでの社会課題を解決に導く影響力を持ち得ていたか」を問う観点です。社会課題の解決に対して大きく貢献したか否かの視座で考察を行ってください。

コトづくり至宝の検討会では、最終的に上記4つの観点から総合的な価値を勘案し、コレクションの選出を行います。

4 その他注意事項

本推薦原稿は、様々に起こる事象の中から「価値のあるコトづくりを見出す(発掘する)ための新たな知識体系の構築」を目的としています。したがって、従来の自然科学とは全く違ったアプローチとなっていますが、知識の積み上げや今後の議論のためにも、なるべくリファレンスなどの客観的事実または根拠にもとづいた論理展開をお願い致します。

また、コトづくり選出の検討会では、どのフレーム

ワークをコトづくりの至宝とするべきかについても検討を行うため、選出時に推薦原稿において指定された範囲または名称とはならない場合があることを予めご了承ください。

参考文献

- 1) 鈴木久敏, 「コトづくり」の系譜と認定事業, 横幹, **10-2**, pp.71-75 (2016)
- 2) 断型基幹科学技術研究団体連合, コトづくり長野宣言, <http://www.jams.or.jp/news/oukann/okan20051102.pdf> (2005)
- 3) 断型基幹科学技術研究団体連合, コトづくりによるイノベーションの推進, http://www.trafst.jp/archive/2007_11appeal.pdf (2007)